

# IT導入補助金について

令和6年2月

中小企業庁

# 「IT導入補助金2024」の概要（令和5年度補正）

- 中小企業・小規模事業者等の労働生産性の向上を目的として、業務効率化やDX等に向けたITツール（ソフトウェア、アプリ、サービス等）の導入を支援する補助金。

## 1. 補助対象事業者

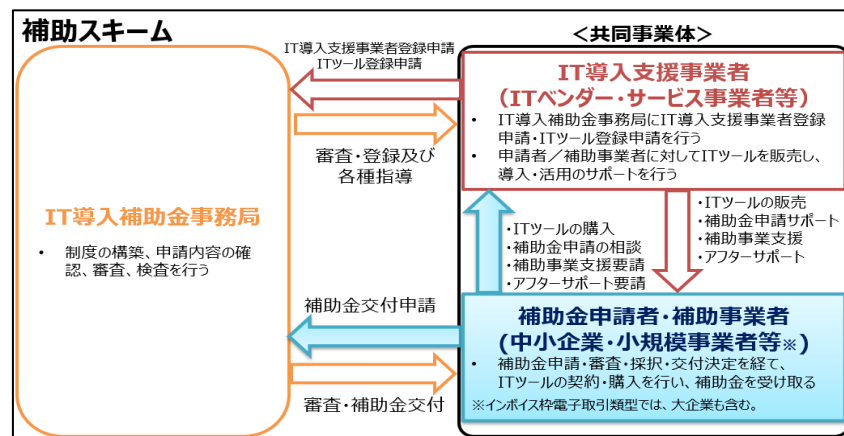
### 中小企業・小規模事業者等

（※電子取引類型では、大企業も補助対象事業者を含む。）

## 2. 補助対象ツール

事前に事務局の審査を受け、補助金HPに公開（登録）されているITツール（ソフトウェア、サービス等）が対象。相談対応等のサポート費用やクラウドサービス利用料等も補助対象を含む。

## 3. 補助額・補助率



	通常枠	複数社連携IT導入枠	インボイス枠 インボイス対応類型	電子取引類型	セキュリティ対策推進枠
要件	業務効率化やDXの推進等に資するITツールの導入	複数の中小・小規模事業者が連携してITツール及びハードウェアを導入	インボイス制度に対応し、会計・受発注・決済の機能を有するITツール及びそのためのハードウェアを導入	発注者がインボイス制度に対応し、受発注機能を有するITツールを導入し、受注者が無料で利用	サイバーセキュリティお助け隊サービスを導入
補助上限	ITツールの業務領域が1～3まで：5万円～150万円 4以上：150万円～450万円	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)消費動向等分析経費：50万円×グループ構成員数 (a)+(b) 合わせて3,000万円まで (c)事務費・専門家費：200万円	ITツール： 1 機能：～50万円 2 機能以上：～350万円 PC・タブレット等：～10万円 レジ・券売機等：～20万円	～350万円	5万円～100万円
補助率	中小企業：1/2	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)・(c)：2/3	～50万円以下：3/4 (小規模事業者：4/5) 50万円～350万円：2/3 ハードウェア購入費：1/2	中小企業：2/3 大企業：1/2	中小企業：1/2
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費、ハードウェア購入費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費、ハードウェア購入費	クラウド利用料（最大2年分）	サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料（最大2年分）

# 「IT導入補助金2024」での拡充点

- 令和5年10月1日に開始されたインボイス制度を強力に支えるため、**インボイスに特化した支援枠を新設。**
- 特に、小規模事業者におけるインボイス制度に対応したITツール導入を強力に支援するため、**小規模事業者に対して一部高い補助率を設定（4/5）。**

	通常枠	複数社連携 IT導入枠	インボイス枠		セキュリティ 対策推進枠
			インボイス対応類型	電子取引類型	
要件	業務効率化やDXの推進等に資するITツールの導入	複数の中小・小規模事業者が連携してITツール及びハードウェアを導入	<b>インボイス制度に対応し</b> 、会計・受発注・決済の機能を有するITツール及びそのためのハードウェアを導入	発注者がインボイス制度に対応し、受発注機能を有するITツールを導入し、受注者が無料で利用	サイバーセキュリティお助け隊サービスを導入
補助上限	ITツールの業務領域が 1～3まで：5万円～150万円 4以上：150万円～450万円	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)消費動向等分析経費：50万円×グループ構成員数 (a)+(b) 合わせて3,000万円まで (c)事務費・専門家費：200万円	ITツール： 1 機能：～50万円 2 機能以上：～350万円 PC・タブレット等： ～10万円 レジ・券売機等： ～20万円	～350万円	5万円～100万円
補助率	中小企業：1/2	(a)インボイス枠対象経費：同右 (b)・(c)：2/3	～50万円以下：3/4 <b>(小規模事業者：4/5)</b> 50万円～350万円：2/3 ハードウェア購入費：1/2	中小企業：2/3 大企業：1/2	中小企業：1/2
対象経費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費、ハードウェア購入費	ソフトウェア購入費、クラウド利用料（最大2年分）、導入関連費、ハードウェア購入費	クラウド利用料（最大2年分）	サイバーセキュリティお助け隊サービス利用料（最大2年分）

# IT導入補助金の活用事例（小売業）

IT導入補助金2020 活用事例



小売業

株式会社かがし屋

## 【申請類型】

IT導入補助金2020 通常枠（A類型）

## 【事業者情報】

住所：福岡県うきは市 設立：1979年 従業員数：352名

売上高：約7,763百万円 URL <https://www.kagasiya.co.jp/>

・文具用品・OA機器販売、介護福祉事業、ドコモショップの運営など、多角的に事業展開

・経済産業省「地域未来牽引企業」選定企業

・SDGsの自社目標を毎期定め、積極的に取り組んでいる



導入したITツールの操作画面

## 抱えていた経営課題



- 携帯電話に関するアイテム数が増加する中、棚卸は手作業で行っており、商品数の把握に時間を要していた。
- 従業員の勤務時間短縮を進めていきたい。
- これまで使っていたPOSシステムのライセンス期間が終了し、次期システムの導入が必要になっていた。

## 導入後の変化、効率化された業務

- 携帯電話本体等に関する最新のマスターデータが、リアルタイムに配信されるようになった。
- RFIDリーダーを使った棚卸に変更。一回の処理で商品の入荷処理を一括で行うことができるようになった。
- 電話で確認せずとも、各店舗の在庫をリアルタイムで把握できるようになった。

## 導入したITツール

携帯電話販売管理ネットワークシステム  
MK.NS（本部機能・店舗機能）

<https://www.broadleaf.co.jp/products/mkns/>

携帯電話本体、付属品といったカタログデータが自動配信されるだけでなく、売上・仕入・在庫も一元管理でき、業務効率化にも寄与する。

IT導入支援事業者 株式会社ブロードリーフ

## 成果

全店舗への導入により  
棚卸時間が  
50%削減見込み！



- スピーディー、かつ、今まで以上に正確な棚卸作業を実現。
- 商品在庫のある店舗を即座に把握できるようになり、販売ロスの削減と顧客満足度の向上につながった。

# IT導入補助金の活用事例（製造業）

IT導入補助金2021 活用事例

製造業

ケースメタル株式会社



## 【申請類型】

IT導入補助金2021 特別枠（C類型-1）

## 【事業者情報】

住所：富山県高岡市 設立：2005年

従業員数：33名 URL <http://ks-metal.co.jp/>

- ・ 金属製品の精密加工板金、工作機械のカバー製作等を手掛ける。
- ・ ロボットなどの機械化や自動化による生産性向上を進めている。
- ・ 経済産業省「地域未来牽引企業」選定企業。
- ・ 中小機構の「IT経営簡易診断」を利用。

Challenge to Change

変わりつづける、挑戦。



2021年竣工の新工場

## 抱えていた経営課題



- 計画的なIT化を進めることができず、会計システムも事業規模に合わなくなっていた。
- 会計事務所とのやりとりは紙ベースで、試算表の作成に2ヶ月ほどかかっていた。
- 新工場建設とコロナ禍という状況下で、リアルタイムに業績を管理し、迅速な経営判断・意思決定につなげたいという思いがあった。

ITツールを活用して労働生産性を高め、  
少人数でも強い組織をつくる！

- 中小機構の「IT経営簡易診断」を受けたところ、経理業務におけるIT化の遅れについて指摘を受け、IT導入補助金の活用を決意。
- IT導入支援事業者のサポート体制が手厚く、困ったときにすぐ電話や対面でサポートしてくれた。
- IT化の目的・メリットを従業員に具体的に示すなど、労使間の信頼関係を損ねないように配慮した。

導入したITツール  
FX4クラウド

<https://www.tkc.jp/fx4/>

経営に活かせる戦略情報をタイムリーに提供し、迅速な意思決定を強力にサポートする。電子帳簿保存法やインボイス制度にも対応。

IT導入支援事業者 TKC全国会

## 成果

経理業務が飛躍的にスピードアップ  
試算表の作成が  
2か月から1か月に(50%短縮)！



- クラウド化によって、会計事務所とリアルタイムにデータを共有することが可能になった。
- 試算表作成期間の短縮や業務効率化によって、今後の経営を考える時間ができた。
- 補助金でIT化や自動化を進め、会社の魅力を高めることができた。

# IT導入補助金の活用事例（その他サービス業）

IT導入補助金2021 活用事例

その他サービス業

株式会社アドバンス北陸サービス 

## 【申請類型】

IT導入補助金2021 特別枠（A類型）

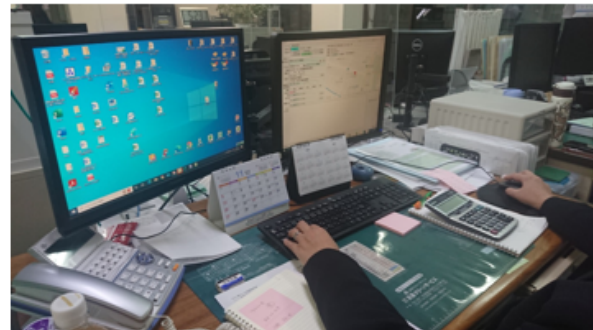
## 【事業者情報】

住所：石川県金沢市 設立：1988年 従業員数：232名

売上高：約390百万円

URL <http://www.advancehokuriku.co.jp/index.html>

- ・ビルメンテナンス業務、各種工場施設の清掃並びに環境整備等
- ・建物を利用するすべての人々に衛生的で快適な空間の提供を目指す
- ・中小機構の「[IT経営簡易診断](#)」を利用。



## 抱えていた経営課題



- ビルメンテナンス業務に関して、ベテランの責任者しか作業員の勤務シフトを組むことができない状況に陥っていた。
- 前日や当日までシフトが出ない状況が恒常化。作業員はぎりぎりまで自身の勤務シフトが分からなかった。
- 作業員の希望シフトの申請が少なめになり、人手不足に陥っていた。

## AIを活用して、勤務シフト作成の自動化を目指す！

- 中小機構の「[IT経営簡易診断](#)」による客観的なアドバイスで、全従業員が自社の課題やIT化すべき点を把握することができた。
- IT導入に抵抗感を示す従業員もいたが、継続的な導入と、事業の発展にIT化が必要であることを丁寧に説明し、納得してもらった。
- シフト作成にAI機能を活用することとしたが、AIの運用には時間がかかるため、従来の管理方法と併用しながら地道に学習を行わせている。

## 導入したITツール 助プロG-CM3

<https://dansuke.net/>

中小製造業向けの総合基幹業務管理システム。  
生産計画をAIが最適化し、ガントチャート自動作成  
事務処理を大幅に合理化・効率化する。

IT導入支援事業者 株式会社エヌジェイシー

## 成果

約1ヶ月先まで勤務シフトが  
組めるようになった！



- ぎりぎりとなっていた勤務シフトの作成が、誰でも1ヶ月先のシフトが組めるようになり、事業継続力が高まった。
- 従業員が予定を立てやすくなったことからストレスが減少し、人材確保につながっている。